

2013 MFJ全日本ロードレース選手権シリーズ第6戦

SUGOスーパーバイク100mile耐久レース

宮城県・スポーツランドSUGO

TOHO Racing with MORIWAKIレースレポート

JSB1000クラス #104 山口 辰也/伊藤 真一

8月24日(土)天候:晴れ 路面:ドライ

公式予選/1'29"370 7番手

8月25日(日)天候:曇 路面:ドライ

決勝/15位

観客動員数(土・日合計):5,600人

シリーズ第6戦は、宮城県・スポーツランドSUGOで100mileというセミ耐久レースで初開催された。ライダーは、1人でも2人でもOK、ピットインは、最低1回が義務化されており、15秒間は止まっていなくてはならない。タイヤ交換、給油も可能だが、電動・エアツールの使用はできない。何より、テクニカルなSUGOを43周もするのは、ライダーにとって体力的にも精神的にも厳しいものだ。一人で走るのは、大変なことだが、マシンを造り込んでいく上では、有利。二人だと、体力的には楽だが、それぞれの好みに合わせ込んでいく作業があり、ラップタイムを同レベルに持って行くのは、難しいことだ。

TOHO Racing with MORIWAKIは、鈴鹿8耐に続き、伊藤真一を起用し、山口との2人体制で臨んだ。事前テストでは、厳しい暑さに見舞われたが、ここでレースで使うタイヤをチョイス。路面温度は、下がっても40度台だろうと予測し硬めのタイヤを選んだのだが、実際にレースウイークに入ると30度台から40度台前半というコンディションとなってしまう、思うようにグリップを出せずに苦労してしまう。グリップを出すためにセッティングを変更するが、足回りのセットアップを進めることができずに公式予選を迎えていた。



2013 MFJ全日本ロードレース選手権シリーズ第6戦

SUGOスーパーバイク100mile耐久レース

宮城県・スポーツランドSUGO

TOHO Racing with MORIWAKIレースレポート

JSB1000クラス #104 山口 辰也/伊藤 真一

公式予選は、1時間の計時で行われ、まずは、山口がニュータイヤでコースイン。タイムアタックを行い3周目の計測で1分29秒370をマークする。続いて伊藤が山口の使ったタイヤのままコースインし、マシンセットを進める。その後、もう一度、ニュータイヤに履き替え、山口がコースインするがタイムは更新できず7番手となる。

決勝日も朝から青空が広がるが、日射しは強いものの流れる風は、爽やかなものだった。最高気温も26.4度までしか上がらず、30度以上の猛暑に慣れていた身体には、涼しさを感じさせる。

スタートは、ル・マン式で行われ山口が、まずライディングする。レース序盤は、トップグループの後方につける健闘を見せていたが、やはり路面温度が低くグリップ不足に悩まされてしまう。それでも山口は、絶妙なスライドコントロールを見せ周回を重ねていく。26周まで山口が走行を続け、ピットインのタイミングで一時は、3番手まで浮上。ピットインし、リアタイヤとガスチャージを行い伊藤にライダーチェンジ。チームも素早い作業でライダーをバックアップする。SUGOをホームコースとする伊藤もマシンをうまくライディングさせ、さすがの走りを見せる。しかし、残り4周を切った40周目の4コーナーでマシントラブルが発生したために転倒。再スタートはできず、そのままレースを終えることになってしまう。リザルトでは、15位完走扱いとなり6ポイントを加算した。



2013 MFJ全日本ロードレース選手権シリーズ第6戦

SUGOスーパーバイク100mile耐久レース

宮城県・スポーツランドSUGO

TOHO Racing with MORIWAKIレースレポート

JSB1000クラス #104 山口 辰也/伊藤 真一

ライダー 山口 辰也コメント

「事前テストでチョイスしたタイヤをレースウィークのコンディションに合わせることができず悔しい結果になってしまいました。何とかグリップを出すためのセットを色々試したのですが、うまくいきませんでした。たまたま失速してしまうトラブルも出てしまい、その問題を解決するために時間がかかってしまい、足回りのセットを詰めることに影響してしまいました。その中でも決勝は、一番いい状態にしてくれたチームに感謝します。伊藤選手にも、もっといい状態で乗っていただきたかったのですが、一緒にレースができたことで、多くの事を学ばせていただきました。この経験を残りのレースに活かしていきたいです」



ライダー 伊藤 真一コメント

「鈴鹿8耐に引き続きTOHO Racing with MORIWAKIで参戦させていただきました。ホームコースのSUGOで、またレースができたことは、すごくうれしかったですね。何とかマシンをいい状態にしようとチーム一丸となって頑張ったのですが、事前テストと路面温度が変わってしまったことが大きかったですね。結果は残念でしたが、一緒にレースをした山口選手、そしてチームの皆さんに感謝します」



2013 MFJ全日本ロードレース選手権シリーズ第6戦

SUGOスーパーバイク100mile耐久レース

宮城県・スポーツランドSUGO

TOHO Racing with MORIWAKIレースレポート

JSB1000クラス #104 山口 辰也/伊藤 真一

監督 齊藤博士コメント

「事前テストのときと路面温度が大幅に変わってしまったことが大きかったです。細かい問題もあり、レースウィークは決して順調ではありませんでした。タイムスケジュール的にも2人を走らせて、セットを詰めるには難しい状況でした。伊藤選手には、鈴鹿8耐に引き続き、TOHO Racing with MORIWAKIで走ってもらいましたが、トラブルで転倒させることになってしまい申し訳ない気持ちです。原因を究明して、今後に生かしていきたいです」



株式会社 TOHO

TOHO Racing with MORIWAKI

担当 野口